

12月10日（土）町生涯学習センターで、「電波と電気
で地中を探る！～熊大生による地中レーダー探査法
と電気探査法を用いた陣ノ内館跡の遺構調査報告～」
が開催されました。

平成20年度から実施している「陣ノ内館跡」（豊内）
の発掘調査において、熊本大学との共同で取り組んで
いる電波やレーダーを使用して実施した調査の成果な
どについての報告会を、町教育委員会が主催。約60人
が来場した報告会には、同大工学部の尾原祐三教授や
学生など15人が、地中レーダー探査法などについて模
型などを用いて説明しました。

これらの探査法は、実際に発掘せずに地中にレー
ダーや電気信号を流して、
計測された値などから史
跡の形状を測定します。

発表で使われた模型は、
同大から町に提供いた
だき、同センター・ギャ
ラリーモールに展示し
ますので、ぜひご覧
ください。



電波による調査の成果を発表

熊大との共同による「陣ノ内館跡」調査報告会



◀「陣ノ内館跡」の発掘調査で、地中レーダー探査法と電気探査法などを用いて実施した調査の方法と成果について、熊大生などが発表

町生涯学習センター自主文化事業を開催

町生涯学習センターでは、12月に2つの自主文
化事業を開催しました。

10日（土）には、現在、発掘調査が進んでいる
「陣ノ内館跡」（豊内）で、熊本大学と共同で実

施したレーダーを使用した調査について、成果発
表会を開催。17日（土）には、童謡デュオ「DO
YO組」を迎えてのクリスマス・コンサートを開
催しました。

美しい歌声でクリスマスを

「DOYO組」のクリスマス童謡コンサート



●童謡デュオ「DOYO組」（写真右）を迎えて開催されたコンサート。
ステージで一緒に歌うコーナーで楽しく歌う子どもたち（写真上）

12月17日（土）町生涯学習センターで、クリスマ
ス童謡コンサートが開催されました。

子どもから大人まで同じ空間に集まって、生の芸術
に触れて共に感動することを目的に、町教育委員会と
町公民館が共催。世界的に活躍する童謡デュオ「DO
YO組」によるコンサートで、家族連れなど約200人
がひと足早いクリスマスの雰囲気を楽しみました。

コンサートでは、「ジングルベル」や賛美歌メド
レー、「あわてんぼうのサンタクロース」などの曲目
を息のあった歌声で演奏。児童などで結成された「ブ
チDOYO組」も一緒に登場し、美しいハーモニーと
楽しくかわいらしい振り付けを披露しました。

来場した子どもたちが
ステージに上がって、
「DOYO組」と一緒に
歌うコーナーなどもあり、
会場からも軽快な手拍子
と口ずさむ歌声が響き、
素敵なステージとなりま
した。





◀甲佐町「人権週間」町民集会で、人権作文発表をする児童たち

人権に関する理解をさらに深めよう

平成23年度甲佐町「人権週間」・12月3日（土）～9日（金）

●本町での人権に関する意識の高揚と啓発を図る

12月3日（土）から9日（金）にかけて、平成23年度甲佐町「人権週間」が実施されました。

同週間は、同実行委員会（上妻毅会長）、町、町教育委員会が主催。同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決や、憲法で保障する基本的人権の尊重、町民の人権意識の普及と高揚を目的に、毎年実施しています。

期間中は、第29回甲佐町「人権週間」町民集会の開催や、特設人権（心配事）相談の開設、街頭での人権啓発の広報活動の実施、町内企業などを訪問しての職場での人権啓発の呼び掛けなど、さまざまな人権に関する活動を展開。また、町生涯学習センターなどでは、児童などの書道や絵画など人権作品の展示も行われました。

●町民参加による啓発活動で人権への理解を深める

同週間の一環として、12月3



▲町民集会では、郡内の人権擁護委員による人権啓発劇も上演

日（土）町生涯学習センターで、第29回甲佐町「人権週間」町民集会が開催されました。

同集会は、同実行委員会（上妻毅会長）、町、町教育委員会が主催。約150人が参加し、人権に関する理解を深めて意識をさらに高めました。

集会は、なごみ大鼓の演奏で開幕。町民参加型のプログラムが組まれ、町内の児童・生徒による人権作文発表や、郡内の人権擁護委員による人権啓発劇の上演などが行われました。

最後に、同集会決議を全会一致で採択し、決議を宣言。集会終了後は、人権パレードで広く人権啓発を呼び掛けながら、市街地を練り歩きました。